

# WADE X アンチデテクトブラウザでプロキシを設定する方法 :完全ガイド

[WADE X](#) アンチデテクトブラウザにおけるプロキシの完全ガイド:どのタイプを選ぶか、プロファイルへの追加方法、Wade Proxy、よくある問題について。

## マルチアカウント管理にプロキシが必要な理由

[WADE X](#) はIPアドレスを自動的に変更しません。それはプロキシの役割です。プロキシがなければ、すべてのプロファイルが同じ実際のIPから実行され、プラットフォームがアカウントを簡単に検出してブロックします。

基本ルール:1つのプロファイルに1つの固定プロキシ。単一プロファイル内でプロキシをローテーションしないでください。不審なパターンが生まれます。

△ VPNはマルチアカウント管理においてプロキシの代替にはなりません。VPNはシステムレベルですべてのアプリケーションのIPアドレスを同時に変更するため、すべてのアンチデテクトプロファイルが再び同じIPを共有することになります。

## レジデンシャル、モバイル、データセンタープロキシ — どれを選ぶか？

データセンタープロキシ— 安価ですが、プラットフォームに簡単に検出されます。これらのIPアドレスはすでにブラックリストに載っており、本格的な作業には適していません。

レジデンシャルプロキシ— 一般ユーザーが自宅デバイスで使用する実際のインターネットプロバイダーのIP。プラットフォームからの信頼性が高い。Facebook、Google、Amazon、eBayに適しています。

モバイルプロキシ— モバイルキャリアのIP。最高の信頼性。Instagram、TikTokに適しています。何千もの実際のユーザーが1つのモバイルIPを共有しており、プラットフォームはこれに慣れていません。

実践的なルール:

- Facebook、Google、Amazon、eBay → レジデンシャルプロキシを使用
- Instagram、TikTok → モバイルプロキシ
- 無料プロキシは絶対に使用しない

## HTTPとSOCKS5プロキシ:違いは何か、いつどちらを使うか？

HTTPプロキシ— HTTP/HTTPSトラフィックのみで動作します。あなたとプロキシサーバー間のトラフィックを暗号化しません。設定が簡単で、ほとんどのタスクに適しています。

SOCKS5プロキシ— あらゆるトラフィックで動作し、より汎用性が高い。重要な注意点:ほとんどのSOCKS5プロキシは現在TCPモードのみで動作しており、プロバイダーがUDPサ

ポートを主張していても、すぐには信じないでください。UDPがなければ、QUICとHTTP/3プロトコルは機能しません。

**SSHプロキシ**— SSHトンネル暗号化付きプロキシ。あなたとプロキシサーバー間のトラフィックに追加の保護層を提供します。

✓ *QUIC*を積極的に使用するプラットフォームで作業する場合は、実際の*UDP*サポートを持つ*SOCKS5*が必要です。

## WADE X アンチデテクトブラウザのプロキシ接続タイプ

WADE X は複数の接続タイプをサポートしています。選択はタスクと使用するプロキシによって異なります。

**NOT SET**— 接続未設定。

**SOCKS5**— SOCKS 5プロキシ。

**HTTP**— HTTPプロキシ。

**SSH**— SSH暗号化付きプロキシ。

**DIRECT**— ネイティブ接続、あなたの実際のIP。

**TOR**— TORネットワーク経由の接続。

**LOCALHOST**— 指定ポートへの接続。

**WADE PROXY**— トラフィック課金のクリーンプロキシ。

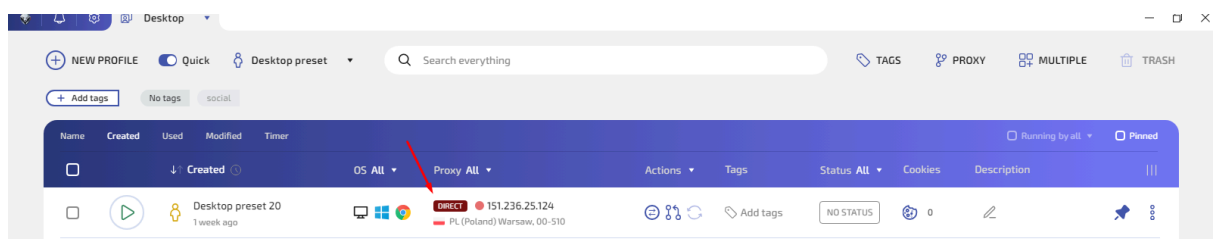
△ *DIRECT*は診断目的のみに使用してください。実際の作業ではサイトがあなたの本物のIPを確認し、他のプロファイルと関連付けられる可能性があります。

## WADE X アンチデテクトブラウザでプロファイルにプロキシを追加する方法

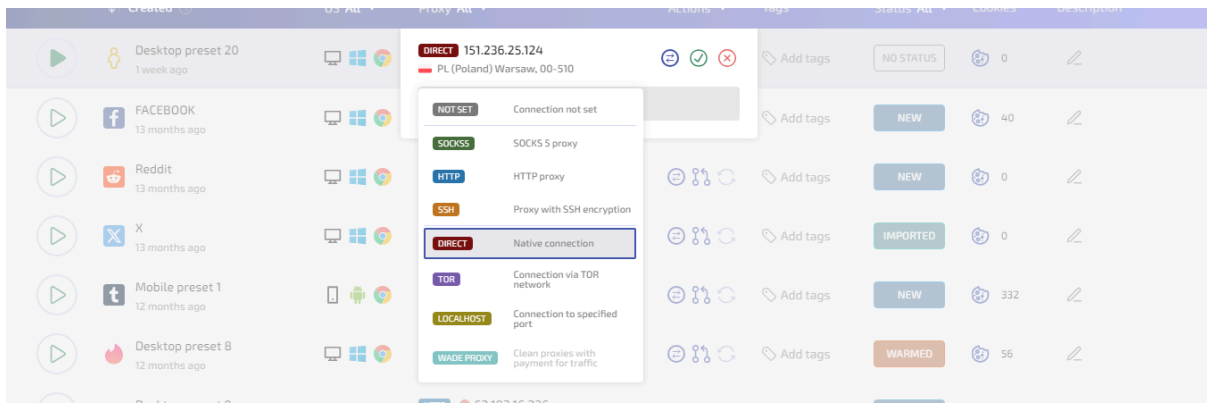
方法1: プロファイルリストから(素早く、プロファイルを開かずに)

この方法はプロファイルがすでに実行中でも機能します。プロキシは即座に切り替わります。

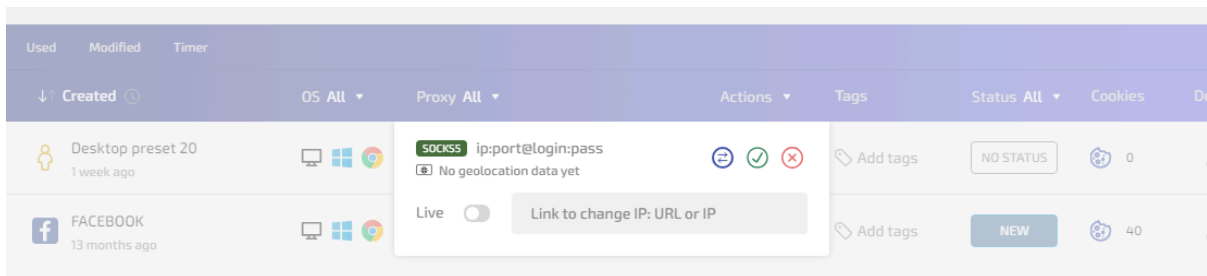
1. **ステップ1.** プロファイルリストで必要なプロファイルを見つけます。プロファイル行に接続タイプのラベル(例: *DIRECT*、*HTTP*、*SOCKS5*)が表示されます。



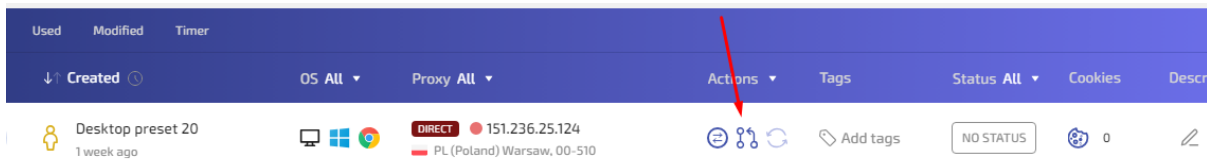
2. **ステップ2.** ラベルをクリックします。利用可能なすべての接続タイプのドロップダウンメニューが表示されます。



3. ステップ3a. プロキシを手動で入力する場合: タイプ(SOCKS5またはHTTP)を選択します。入力フィールドが表示されます。host:port@login:passwordの形式でデータを入力し、チェックマークをクリックして保存します。



4. ステップ3b. Proxy managerから選択する場合: 入力フィールドの横にあるプロキシマネージャーアイコンをクリックします。事前に追加したプロキシのリストが開きます。必要なものをワンクリックで選択します。

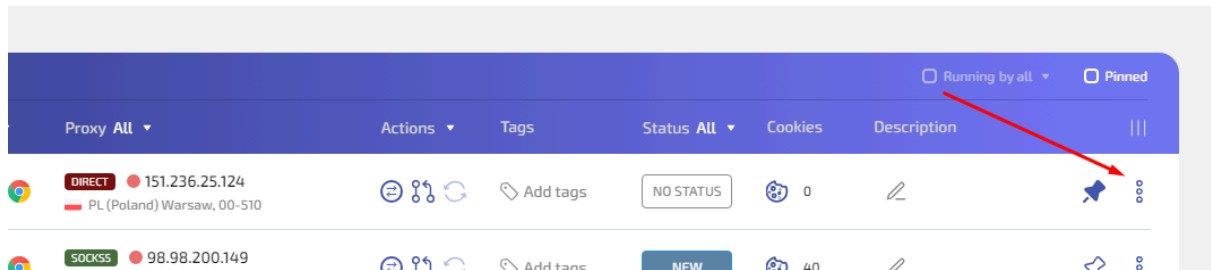


5. ステップ4. プロファイルが実行中だった場合、変更は即座に適用されます。再起動は不要です。

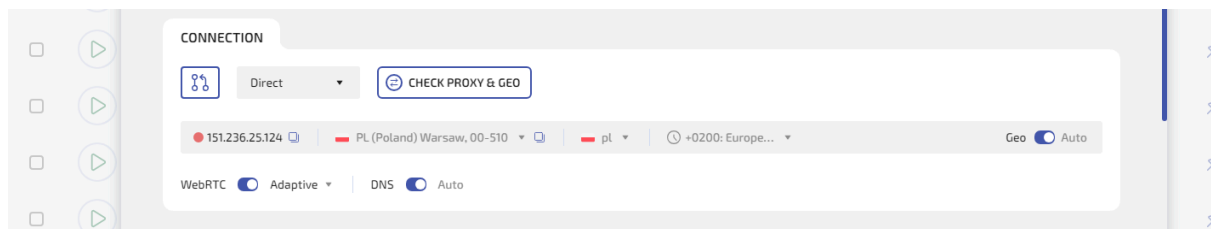
## 方法2: プロファイル編集を通じて

プロキシを他のプロファイル設定と一緒に設定する必要がある場合や、動作確認をその場で行いたい場合に適しています。

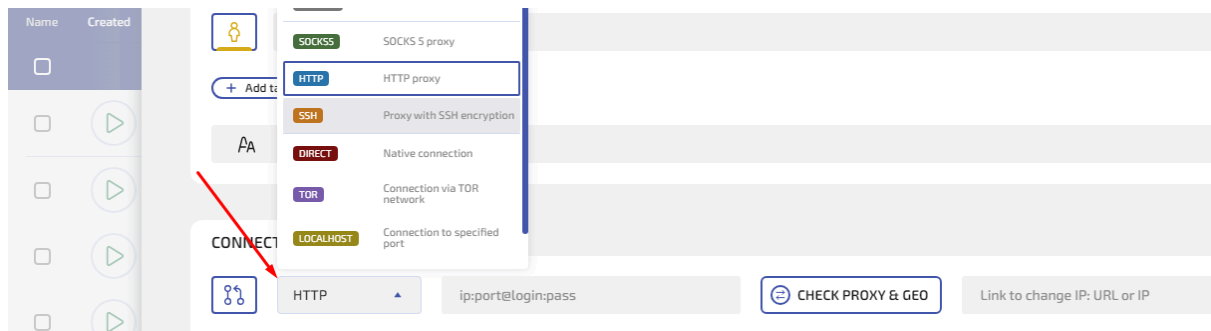
1. ステップ1. コンテキストメニュー(三点)からEdit profileを選択します。



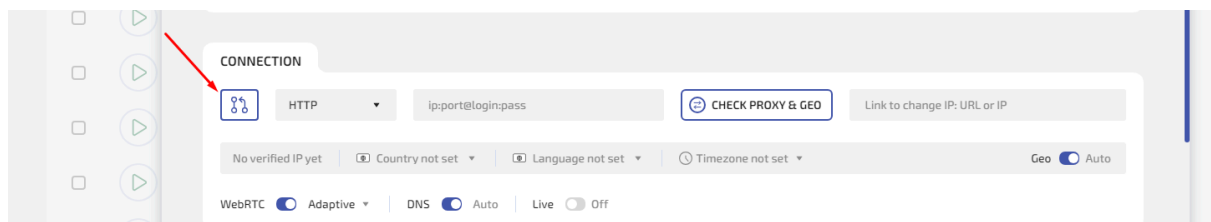
2. ステップ2. 開いたフォームでCONNECTIONセクションに移動します。



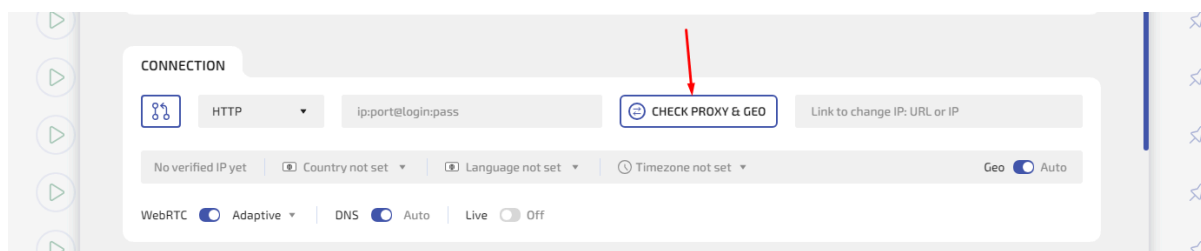
3. ステップ3a. 手動で入力する場合: ドロップダウンで接続タイプ(SOCKS5、HTTP、SSHなど)を選択します。隣のフィールドにhost:port@login:passwordの形式でデータを入力します。



4. ステップ3b. Proxy managerから選択する場合: ドロップダウンの左側のアイコンをクリックします。リストから必要なプロキシを選択します。



- ステップ4. CHECK PROXY & GEOをクリックします。システムがプロキシを検証し、IP、国、都市、タイムゾーンを表示します。この手順ではプロファイルは起動しません。

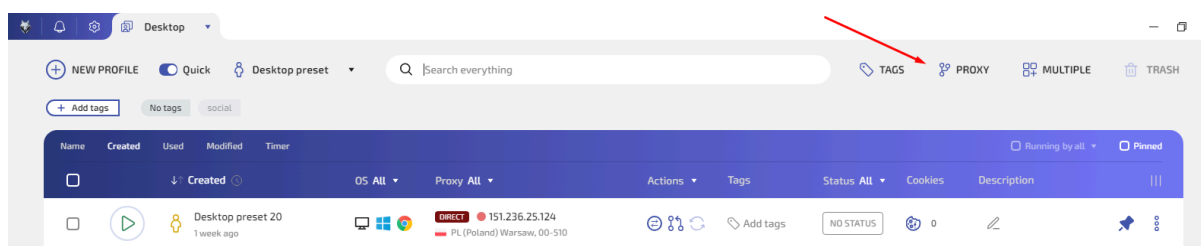


- ステップ5. SAVEまたはSAVE & RUNをクリックして保存し、すぐにプロファイルを起動します。

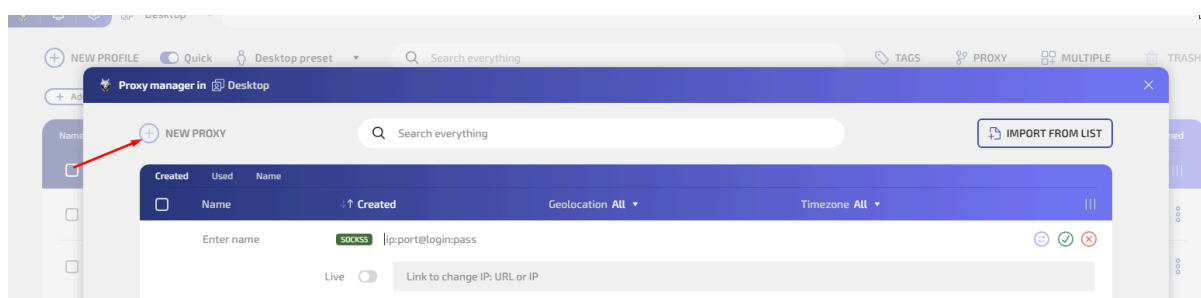
## Proxy managerでプロキシを保存する

プロキシが多い場合やチームで作業する場合に最適なアプローチです。すべてのプロキシを一度追加し、プロファイルに素早く割り当てます。

- ステップ1. 上部ツールバーのPROXYボタンをクリックします。Proxy managerが開きます。

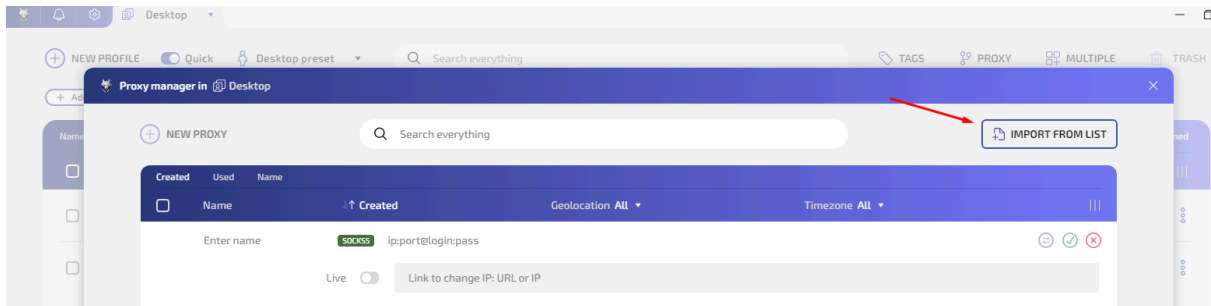


- ステップ2. NEW PROXYをクリックしてプロキシを手動で追加します。



- 名前を入力(検索しやすくするため)
- タイプを選択(SOCKS5、HTTPなど)
- host:port@login:passwordの形式でデータを入力
- 必要に応じてLiveを有効にします。IP切り替えリンクのフィールド(ローテーション付きモバイルプロキシに関連)

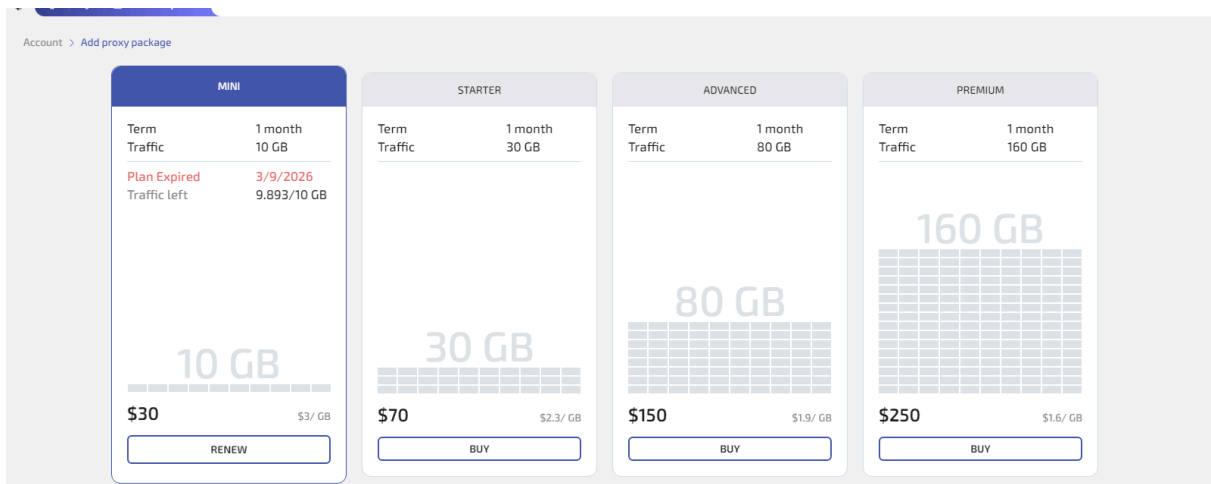
- ステップ3. またはIMPORT FROM LISTをクリックして一括インポートします。プロキシのリストを1行ずつ貼り付けます。



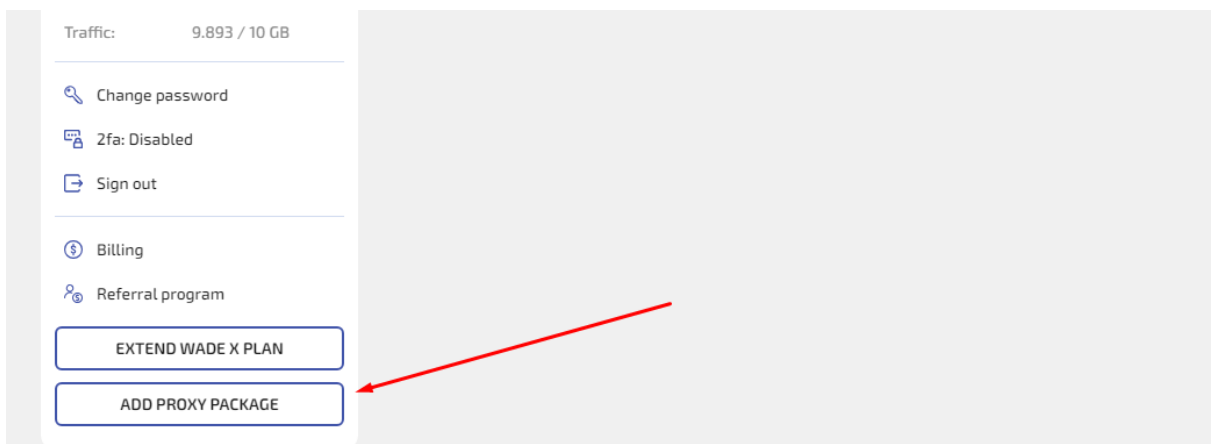
- ステップ4. 追加後、プロキシは方法1と方法2で選択できます。プロフィール行または編集フォームのプロキシマネージャーアイコンをクリックします。

## Wade Proxy: WADE X 内蔵プロキシ — 接続方法とチャージ

Wade Proxy — トラフィック課金のWADE X独自のクリーンプロキシ。すべてのプランで利用可能。

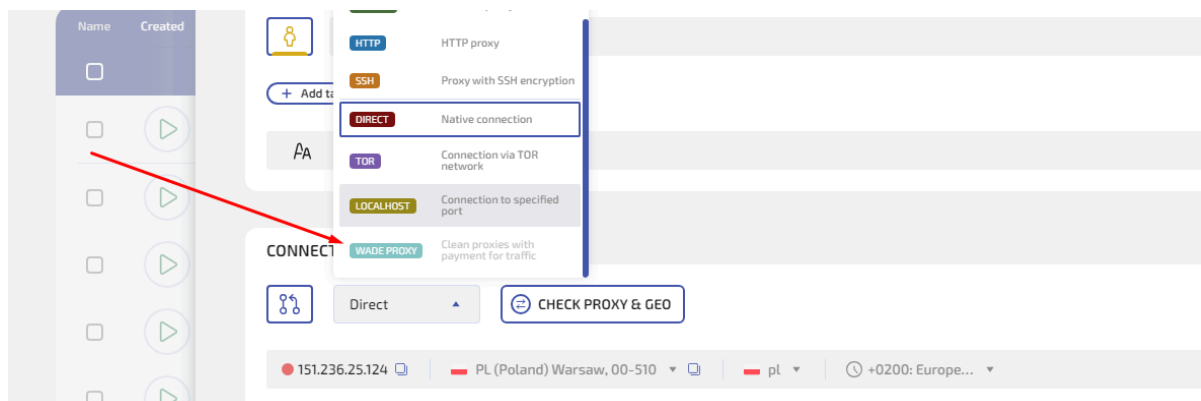


プロキシ購入ボタンはWADE X プラン更新ボタンの下にあります。



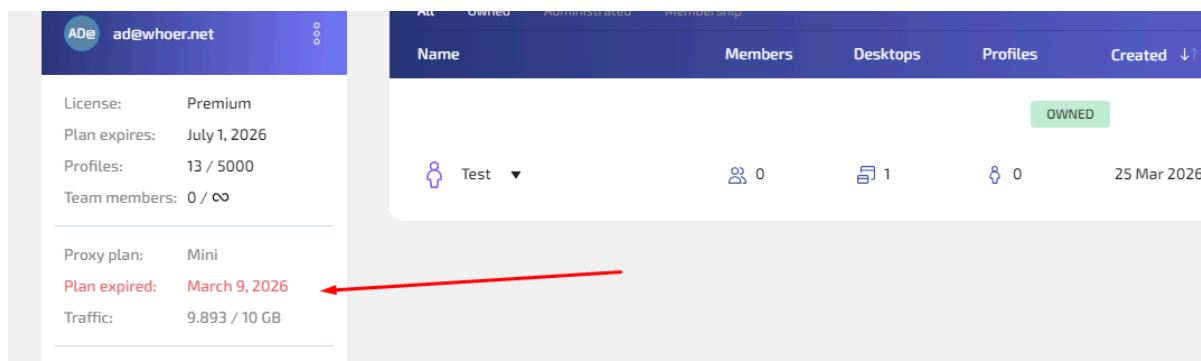
使用方法:

1. ステップ1. プロファイル行の接続タイプをクリックするか、Edit profile → CONNECTIONを開きます。



2. ステップ2. WADE PROXYタイプを選択します(リストを下にスクロールする必要がある場合があります)。
3. ステップ3. 利用可能なロケーションから国と都市を選択します。190以上の国が利用可能。
4. ステップ4. プロファイルを保存します。

残高と使用統計はAccount License(アカウントのメインタブ)で確認できます。



未使用のWade Proxyトラフィックはサブスクリプション更新時に失効しません。同じプランを継続する場合、残りのトラフィックは繰り越されて新しいパッケージに追加されます。別のプランに切り替える場合も残りのトラフィックは失われません。旧パッケージに保持され、戻ったときに再び利用できます。

## プロキシ接続フォーマット

手動入力の標準フォーマット:

**host:port@login:password**

例:175.110.115.169:443@username:password

△ プロキシタイプ(HTTP、SOCKS5など)は別のドロップダウンで選択します。接続文字列には含めません。

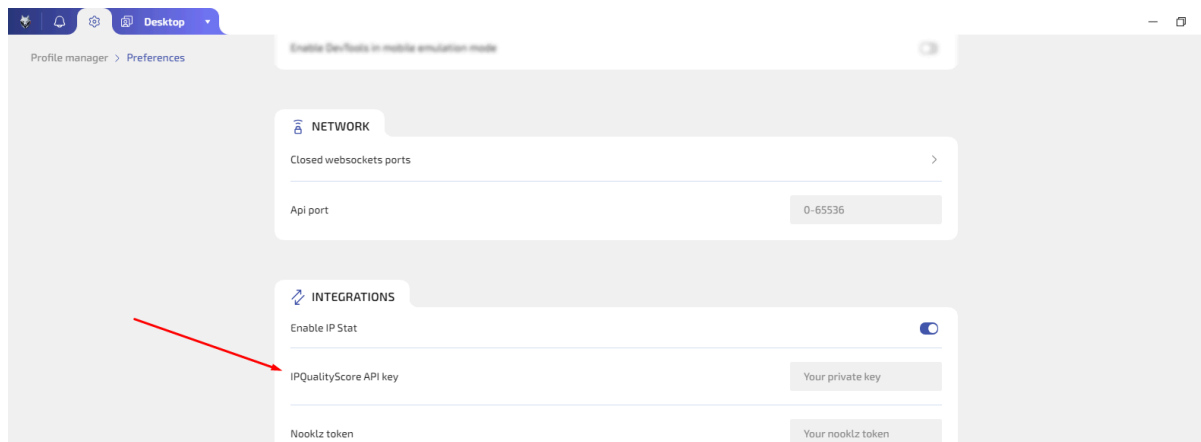
## WADE X でプロキシを確認する方法:クイックチェックとIPレピュテーション

プロファイルを起動せずにクイックチェック: プロファイル編集フォームでCHECK PROXY & GEOをクリックします。IP、ジオロケーション、プロキシステータスが表示されます。メインリストからのショートカット: Ctrl+E。



完全チェック: プロファイルを起動してwhoer.netを開きます。実際のIPではなくプロキシIPが表示されるはずですが。ジオロケーション、WebRTC、DNSも表示されます。

IPレピュテーション確認: ipqualityscore.comに登録してAPIキーを取得し、WADE X Settingsに追加します。インターフェース上でIPのクリーン度を直接確認できます。



## WADE X でプロキシが動作しない:原因と解決策

"プロキシを追加したがIPが変わらない"

- プロファイルを再起動する
- 接続タイプがDIRECTになっていないか確認する
- **CHECK PROXY & GEO**でプロキシが機能していない可能性がある
- スプリットトンネリング付きVPNが有効な場合、ブラウザのトラフィックを傍受してプロキシをバイパスしている可能性があります。スプリットトンネリングを無効にするか、chrome.exeをリストから削除してください

"プロキシは他のブラウザで動作するがWADE Xでは動作しない"

- プロキシタイプを確認する。間違ったタイプが選択されている可能性があります (SOCKSの代わりにHTTP、またはその逆)
- ウイルス対策ソフトが接続をブロックしていないか確認し、WADE Xを例外に追加する
- プロキシファイアー (Proxifier、SocksEscort) を閉じる。競合する可能性があります

"プロキシは1つのプロファイルで動作するが別のプロファイルでは動作しない"

おそらくプロファイルの設定の問題です。問題のあるプロファイルの接続タイプとプロキシ文字列のフォーマットを確認してください。

不良プロキシの兆候:

- タイムゾーンがIPのジオロケーションと一致しない
- IPQSでの不正スコアが高い
- IPがスパムブラックリストに掲載されている

設定についてサポートが必要な場合は、WADE Xサポートにお問い合わせください:

[t.me/WadeXTeam](https://t.me/WadeXTeam) または [ask@wade.is](mailto:ask@wade.is)